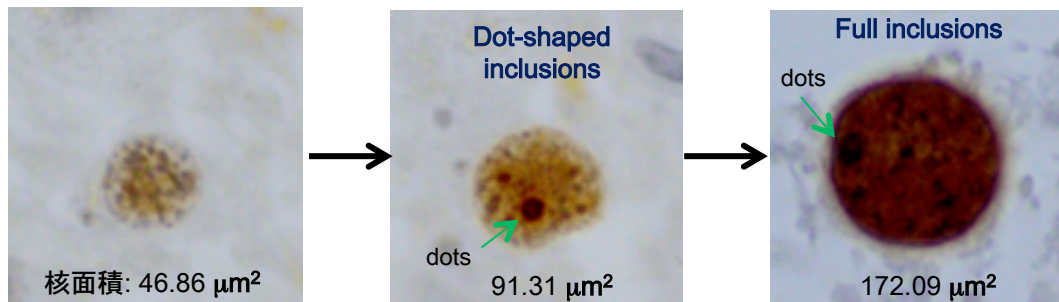
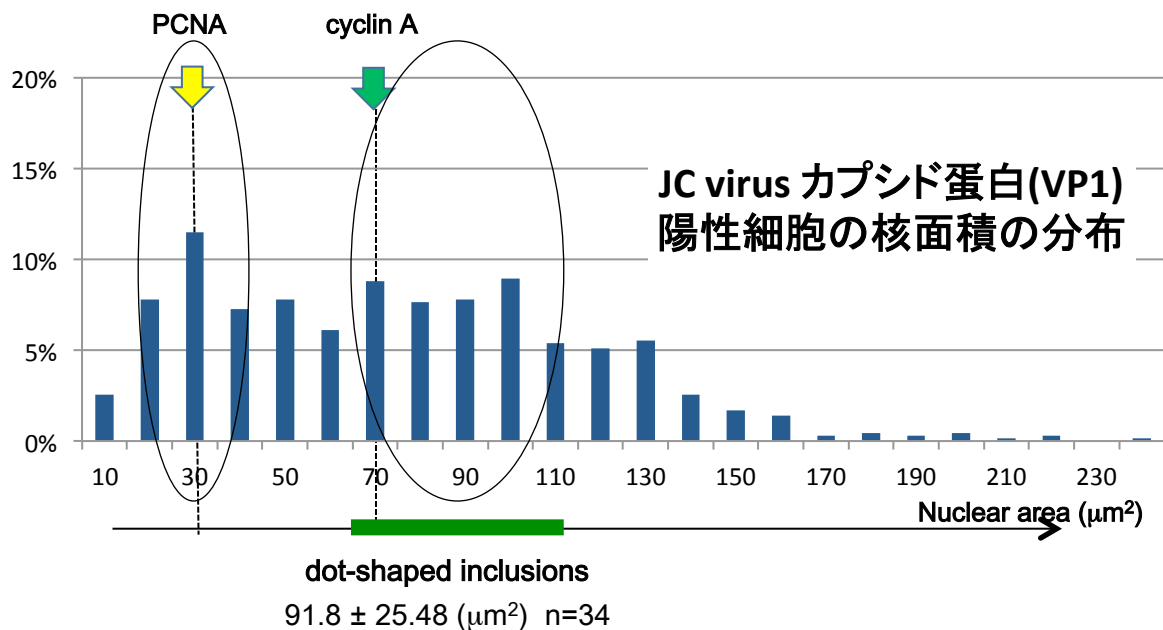


JCウイルス封入体形成メカニズム

研究分担者: 杏林大学医学部病理学教室 宍戸-原 由紀子



JCウイルス カプシド蛋白免疫染色



解 説

1. 進行性多巣性白質脳症は、JCウイルス感染による脱髄疾患で、感染細胞腫大核のウイルス封入体の検出が病理診断の指標になる。
2. 近年我々は、JCウイルスが、PML-NBsと呼ばれる核内構造で増殖してドット状封入体を形成することを明らかにした(dot-shaped inclusions)。
3. JCウイルスは、ドット状封入体を形成後、核全体を占める封入体(full inclusions)を形成する。この過程で、感染細胞は細胞周期をSからG2へと移行させながら、核腫大を示すことが明らかになった。

(Shishido-Hara et al, JNEN 73:442-453 2014)